



誰もが安心して自分らしく暮らせる
地域社会をみんなで作ります

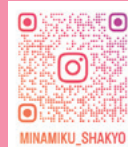


発行日：令和8年10月1日

発行：(福)横浜市南区社会福祉協議会 会長 吉井 肇

TEL：045-260-2510 FAX：045-251-3264

<https://www.minami-shakyo.jp/>



MINAMIKU_SHAKYO

10月1日から 共同募金が始まります

南区では、今年も共同募金運動が始まります。地域の福祉活動を支える大切な財源として、多くの団体・施設・地域の皆さんにご協力いただいています。皆さまからお寄せいただいた募金は、障害施設や地域活動の支援など“南区の支え合い”のために活用されています。



ふれあい助成金受配団体／大岡ふれあいサポート

助成金のおかげで活動に必要な草刈り等の道具を購入したり、依頼者からの連絡を受けるための電話を持つことができます。今後も地域の方の生活を支える活動に継続して取り組んでいきたいと思っています。



ふれあい助成金受配団体／大岡川ふれあいサロン

サロン活動はまもなく20年を迎えます。助成金のおかげで内容を充実させ、ここまで継続することができています。参加者の笑顔に、スタッフ一同大きな喜びを感じています。皆さまのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。



第5期南区地域福祉保健計画 地区別計画リーフレットの作成

南区内の地区社会福祉協議会が主体となり、地区の福祉保健課題を解決していくための計画を策定しています。計画PRのためのリーフレットを作成し、財源に共同募金を活用させていただきました。



協力のお願い

街頭募金に協力いただける団体を募集しています。また、募金箱の設置に協力いただける施設・店舗も募集しています。募金したい方もお気軽にお問合せください。

問合せ先：共同募金会南区支会担当（南区社会福祉協議会内）

☎045-260-2510



共同募金PR大使
野毛山動物園の
レッサーパンダ「イチゴ」

赤い羽根募金の
使いみちはこちらから
赤い羽根データベース
“はねっと”



にこにこ みなみ 地域の人と障害のある人が出会う場

～はじまりと今～

にこにこみなみは、南区役所1階にある小さなコーヒーショップです。「障害のある人が働ける場所をつくりたい」という思いから2016年5月に始まり、今年で10周年を迎えました。日替わりで区内の作業所が参加し、パンやクッキー、手づくり品などを並べています。

店に入ると、コーヒーの香りと一緒に、メンバーの「これ、私が作ったんです」「今日はこれが人気です」といった声が自然に聞こえてきます。その声に、お客さんが「がんばって」「また来るね」と返す光景も、ここでは日常の一部です。

コロナ禍で休業や短縮営業が続いた時期もありましたが、再開の日には常連さんが「やっと開いたね」と顔を見せてくれたことが、店を続ける大きな励みになりました。メンバーにとっても、ここに来ることが“今日の楽しみ”になっています。

曜日ごとに参加する作業所が変わるため、店の雰囲気や並ぶ商品が少しずつ違うのも、にこにこみなみらしさです。店頭立つことを「社会経験のステップ」としている方もいて、働く姿を地域の人に自然に見てもらえる場にもなっています。

～ゆるやかにつながる場所～

店長は、店の空気をつくるうえで「コーヒーのあたたかさ(Hot)」と「ひと息つける感じ(ほっと)」の両方を大切にしてきたと話します。来てくれた人がほっとできるように、メンバーも安心して過ごせるように、日々の小さなやりとりを丁寧に積み重ねてきた場所です。

にこにこみなみは、そんな日常のやさしいやりとりから、ゆるやかなつながりが生まれています。



店長の畑中さん

出店団体一覧	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri
第1週	へいへいほー	フレンズ南ギッフエリ	あいの木きょうしん	あいの木ひがしまいた	パーソルダイバース
第2週	どんとこい・みなみ	フレンズ南ギッフエリ	ラフォーレさくらサザンワーク	むつみすみれ	パーソルダイバース
第3週	へいへいほー	フレンズ南ギッフエリ	あいの木きょうしん	めざみめざみ工房	パーソルダイバース
第4週	どんとこい・みなみ	こそあど・ぐるん	ラフォーレさくらへいへいほー		パーソルダイバース
第5週	へいへいほー	フレンズ南ギッフエリ	あいの木きょうしん	むつみすみれ	パーソルダイバース

日替わりで区内作業所で作ったおいしいパンやお菓子の販売もあります。店頭販売の時間帯は日によって変わります。詳細は店舗まで。

■営業時間
月～金曜日(祝日除く) 10:00～15:00
南区総合庁舎 1階

いらっしやいませ。お待ちしております！



自主製品の展示販売

Kokua

学びを通じて、“障害理解”が広がる場

～Kokuaって？～

障害児者の親の会有志から生まれた団体です。Kokuaは“みんないっしょ”をテーマに、疑似体験や紙芝居を通して“気持ちの共有”を大切にしたい障害理解啓発活動を続けています。嬉しい・困った・緊張する——そんな誰もが持つ気持ちを出発点に、違いではなく“共通点”から理解を広げることを目指しています。

～気持ちに寄り添う伝え方～

地域向けの講座では、日常の工夫を伝えるビデオや疑似体験を、学校向けには実話をもとにした紙芝居を使い、伝え方を丁寧に工夫しています。これらを通して、障害のある人の気持ちに触れるきっかけをつくっています。学びを通して“知らなかつ

た世界”に触れ、ゆるやかな出会いが生まれることが活動の大きな力になっています。

～伝えたいこと～

私たちは誰でも、お互いを認め合いながら自分らしく過ごせると幸せです。それは、障害のあるなしに関わらず“みんないっしょ”みな同じです。皆さんの周りにも障害のある人は必ずいます。地域の中に、知ってくれている人が一人でも二人でも増えていってくれたら嬉しいです。



▲詳細はこちら



出前講座のご案内

学校・自治会・企業へ伺います。体験ワーク中心のやさしい講座です。

問い合わせ・申込はこちら
→ Kokua2010minami@ymail.ne.jp

障害者週間 展示販売会のお知らせ

障害者週間には、区内の作業所(※)が集まる展示販売会を開催します。にこにこみなみで出店している団体以外の参加もありますのでぜひお立ち寄りください。(※)作業所=障害のある人が働いたり活動したりするところ
12月4日(金) 及び 7日(月) 会場: 南区役所 多目的ホール 11月下旬には区役所ギャラリーでの展示も開催予定です! イベントの詳細は、広報よこはまにてお知らせします。

知らせ・知り合い・つながろう みんなでつくる、ゆるやかなつながりが広がる南区へ

南区には、障害のある人もない人も、ゆるやかにつながり合える場がたくさんあります。地域の人と障害のある人が出会う場、学びを通じた出会い、家族同士がつながる場など、さまざまな“出会い”が広がっています。今回は、その一部をご紹介します。

みなみ会って？

南区で長く活動が続けている、心の病・精神障害に悩む人たちとその家族がともに支え合う会です。家族ならではの悩みやとまどいを、安心して話せる場所として50年続いてきました。

～気持ちをそのまま話せる場所～

取材では、「同じ悩みを共有できる安心感がある」「家族以外には話づらいことも、ここなら言える」と



創立50周年を迎えました

いった声がありました。誰にも言えず抱えてきた気持ちを、ここでは出すことができます。

みなみ会では、経験者から助言をもらえ、自分の体験を話したり経験者から助言をもらったりする中で、心が軽くなる時間が流れています。「共通の悩みを語り合うことで、孤立していないことを実感できる」「常識だと思っていたことが、必ずしもそうではないと気づかされる」という声もありました。

～否定されずに受け止めてもらえる場所～

どんな話でもまず受け止めてもらえる、穏やかな空気があります。参加者同士で日々の工夫を紹介し合っ

たり、「うちはこうだったよ」と経験を分かち合う場面も。落ち着いた雰囲気の中に、時折笑い声もまじる穏やかな時間が流れていました。

～地域に開かれた居場所として～

みなみ会は、月に一度研修会や懇談会を開きながら、これからも無理のない形で活動を続けていきます。こうした居場所が地域にあることを、知ってもらい、精神疾患や精神障害に対して正しく理解してもらうことを望んでいます。



ある日の懇談会の様子

問合せ先: 090-4613-4937 (代表: 浅羽孝政)

障害児・者のための移動情報提供窓口 ガイドボランティア募集中

障害児者のおでかけの不安を支え、その方に合った支援につながるよう一緒に考える窓口です。

Qだれが利用できる？

外出に不安がある障害のある方やご家族なら、どなたでもご相談いただけます。

Qどんな相談ができる？

通学・通所・通院・買い物・余暇など、「ひとりで行くのは心配」という外出の付き添いについてお話を伺います。

ガイドボランティアやガイドヘルパーの利用相談もできます。

Qガイドボランティアって？

外出に付き添い、移動をそばで支えるボランティアです。



Qどんな活動？

通学、通院、買い物、休日のお出かけなど、「誰かと一緒なら安心して行ける」外出をサポートします。

Qだれができる？

歩く活動が中心のため、体を動かすことが好きな方に向いています。

奨励金の支給、講座・交流会、付き添い前の顔合わせや初回同行などがあり、初めての方でも始めやすい活動です。

Qどうやって始める？

まずは登録が必要です。登録後、依頼があった際に活動できそうな方へお声がけする仕組みです。

～活動者インタビュー～



ガイドボランティア歴9年
大鳥羽さん
趣味 俳句・ジョギング

定年退職をきっかけに、中学生・高校生の支援から活動を始め、現在は小学校6年生の登校に付き添っています。ご自宅に着いたらその日の様子を見て、まずは安全に気を配りながら、好きな数字のクイズをしたり、特に話さず静かに歩いたり、児童のペースに合わせています。

過去には、「こんな人知らない」と言われたり、声掛けにも応じず、道に座り込んでしまった日もありました。一方で、年度末の日に昇降口でハイタッチを交わした後、「今年度も付き添ってくれてありがとう」と言われ、思わず胸が熱くなったこともありました。

ほかのボランティアや非常勤の仕事、趣味などと無理なく両立できます。健康維持にもなり、ささやかな地域貢献にもつながる活動です。皆さんも、この活動に加わってみませんか。

■問合せ先 南区移動情報センター(南区社会福祉協議会内) ☎045-250-5260 月～金 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

南区後見的支援室さぼと・なみ

いつもの街で、そっと見守るボランティア。あんしんキーパー募集中

障害のある方が地域で安心して暮らし続けられるよう、定期的な相談や見守りを行う南区の後見的支援室です。地域で障害のある方をゆるやかに見守る「あんしんキーパー」を募集しています。

Qあんしんキーパーってなに？

地域で障害のある方をそっと気にかけて、日常の小さな変化に気づいたら支援室へつなぐ協力者です。地域の中で「気にかけてくれる人」が増えることで安心の輪が広がります。

Qどんなことをするの？

外で見かけた時に声をかける、月に一度様子を聞くなど、できる範囲での関わりが中心です。気づいたことがあれば支援室へ共有します。

Qなぜ地域の方の関わりが必要？

支援機関だけでなく、地域の方の

気づきがあることで、「きめ細やかな見守り」ができます。普段の暮らしだけでなく、災害時の対応や防犯の面でも安心につながります。日常の小さな変化に気づける人が身近にいることは、障害のある方にとって大きな支えになります。

Q活動に関心がある方へ

あんしんキーパーは、無理なく続けられる地域の見守り活動です。「できる範囲で関わってみたい」という気持ちがあれば大歓迎です。

～相談したい方へ～

Q相談してもいいのかな…？

もちろん大丈夫です。支援室では、ご本人の希望や不安、生活の様子などを丁寧に伺いながら、必要な時にスムーズな支援につなげられるよう準備しています。「ちょっと気になる」「少し心配」という段階でも、気軽にご相談ください。障害のことを周囲に知られたくないというお気持ちにも配慮しながら、一人ひとりの意思や価値観を大切に、継続して見守りや相談支援を行っています。一人で抱え込まず、まずはお話を聞かせてください。

ご相談お待ちしています



■問合せ先 南区後見的支援室 さぼと・なみ ☎045-348-9035 南区中村町4-283-10 月～金 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

お知らせ

みなみクリスマス ボランティア募集

南区内の様々な事情を抱えた家庭を対象に、クリスマスの思い出をお届けします。まずは、説明会・講習会にご参加ください。※ボランティア証明書発行可能

活動日 12月25日(金) 15時集合20時頃解散予定

説明会日時 11月8日(日) 10:00～12:00

11月29日(日) 10:00～12:00

※いずれかに参加 ※申込必須

説明会会場 南区福祉保健活動拠点 多目的研修室

対象 高校生以上、夜間荷物を持ち、衣装を着て

1～3時間程度歩ける人

主催 みなみクリスマス

ほか詳細はこちら▶



南区災害ボランティアネットワーク会員募集

～災害ボランティアセンター設置のために一緒に考えてみませんか？～

〈災害ボランティアセンターとは〉

災害時に被災地支援ボランティアを受け入れるために設置されるものです。

〈主な災害ボランティアネットワークの活動内容〉

●定例会

月に一回第2木曜日 下記活動内容の準備・確認をしています。

●災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練

センター設置候補地にて被災時の状況を想定した訓練を行います。

●防災に関する啓発活動

地域イベントなどで防災意識に向けた啓発活動を行います。



■問合せ先 南区ボランティアセンター(南区社会福祉協議会内) ☎045-260-2531 月～土 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)